

平成20年11月23日

ありのまま自立大賞
アドバイザーの皆様

社会福祉法人ありのまま舎
理事長 大坂 純

「第11回ありのまま自立大賞」実施要綱とちらし送付
並びに推薦のお願いにつきまして

拝啓 晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、先般、今後の自立大賞につきましてご報告をさせて頂きましたが、この度、新たな実施要綱が完成致しました。
内容としては、これまでの賞を大きく2つ（個人と団体）に分けることになりました。
その他については、特に変更はございません。
尚、毎回作成しておりました啓蒙用ちらしは、要綱見直しのために遅くなっており、昨年のちらしと前回受賞されたお二人の紹介を送らせて頂きます。
併せて、推薦書類様式をお送りさせて頂きますので、推薦書提出の際にご利用頂きますよう、お願い申し上げます。
推薦書類提出の切日は、**平成20年12月31日（水）【当日消印有効】**です。
毎年お忙しい中、お手数をお掛けいたしますが、今後も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。
時節柄、くれぐれも御身体御自愛下さい。

敬具

連絡先・推薦書送付先

〒982-8544

社会福祉法人ありのまま舎 自立大賞事務局

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL022-243-1300 FAX022-243-0322

(担当 白江・大内)

メール houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

<http://www2.ocn.ne.jp/~ari>

〔補足〕 第一次選考に関するアドバイザー

◎幅広い人材の発掘を目的に、第3回よりアドバイザー制度を設けました。第一次選考委員の情報網をサポートする形で、全国の福祉関係の有識者により構成されております。

〔エリア順 敬称略31名〕

地域	名前	なまえ	役職
北海道 (3名)	竹田 保	たけだたもつ	NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センター 代表理事 第5回ありのまま自立奨励賞受賞
	伊藤 たてお	いとうたてお	難病支援ネット北海道 代表
	佐藤 きみよ	さとうきみよ	自立生活センターさつぼろ 理事長 第3回ありのまま自立奨励賞受賞者
東北 (1名)	四戸 龍英	しのへりゆえい	㈲リュウコーポレーション (福祉機器) 役員
関東 (11名)	加藤 真規子	かとうまさこ	NPO こらーる・たいとう 代表
	中園 秀喜	なかぞのひでき	株式会社 ワールドパイオニア 代表取締役 第4回ありのまま自立支援大賞受賞者
	福島 智	ふくしまさとし	東京大学先端科学技術研究センター 教授 第2回ありのまま自立大賞受賞者
	松井 純子	まついじゅんこ	NPO法人 日本盲人マラソン協会 常務理事
	松友 了	まつともりょう	元(社福)全日本手をつなぐ育成会 常務理事
	村松 建夫	むらまつたてお	身体障害者療護施設横浜らいず ビアセンター 第7回ありのまま記録大賞受賞者
	亀田 藤雄	かめだふじお	(株)ニッシン自動車工業 代表取締役 第7回ありのまま自立奨励賞受賞者
	杉本 博敬	すぎもとひろたか	NPO法人 日本盲人マラソン協会 名誉会長 第7回ありのまま自立支援功績賞受賞者
	奥平真砂子	おくひらまさこ	(財)日本リハビリテーション協会 企画研修部研修課長 第8回ありのまま自立支援奨励賞受賞
	(社福) 藍		第9回ありのまま自立支援大賞(団体)受賞
	長谷川 貞夫	はせがわ さだお	第10回ありのまま自立支援大賞受賞者
中部 (4名)	市江由紀子	いちえゆきこ	レスパイト施設「コンビニハウス」コーディネーター 第1回ありのまま自立奨励賞受賞者
	小倉 國夫	おぐらくにお	アジア障害者支援プロジェクト 事務局長 第1回ありのまま自立功績賞受賞者
	後藤 匡弘	ごとうまさひろ	車いすセンター・静岡 代表
	河合 純一	かわいじゅんいち	パラリンピック金メダリスト 第3回ありのまま自立功績賞受賞者
関西 (3名)	大友 章三	おともしょうぞう	NPO法人 CIL豊中 副理事長
	メインストリーム協会		第5回ありのまま自立支援大賞(団体)受賞
	岩田 美津子	いわた みつこ	てんやく絵本ふれあい文庫 代表 第10回ありのまま自立支援大賞受賞者
中国 (4名)	笠井弥太郎	かさい やたろう	(社)全国有髄損傷者連合会 山口県支部長
	はら みちを		詩画家・第4回ありのまま自立功績賞受賞者
	太田 茂	おおたしげる	川崎医療福祉大学教授 第5回ありのまま自立奨励賞受賞者
	流王 雄太	りゅうおうゆうた	精神科医・第9回ありのまま自立大賞受賞者

四国 (1名)	川合 恒雄	かわい へつお	独立行政法人国立病院機構東徳島病院 児童指導員
九州 (3名)	杉浦 良	すぎうらりょう	特定非営利活動法人 太陽と緑の会 代表理事
	上野 茂	うえの しげる	有限会社 大分タキ 代表取締役会長 第6回ありのまま自立功績賞受賞者
	吉村 隆樹	よしむら たかき	プログラマー・第8回ありのまま自立奨励賞受賞者
沖縄 (1名)	上里 直子	うえざと なおこ	沖縄県自立生活センター イルカ 理事 第6回ありのまま自立奨励賞受賞者

ありのまま自立大賞要綱改正のポイント

当舎 山田専務理事及び事務局において整理したものをベースにして、殿下の御指導を頂き、下記の通りとなりました。

御確認の上、今後ともよろしく御願い致します。

- 1 趣旨に変更はありません。
- 2 ありのまま自立大賞における「自立」及び「自立支援」の考え方をいれました。
- 3 賞の種類を大きく2つ（個人と団体）にわけました。
- 4 自立大賞は個人のみとし、個人で自立大賞に及ばないかたは奨励賞としました。
- 5 自立支援大賞は団体とし、団体で自立支援大賞に及ばないが顕彰したい団体は功績賞としました。
- 6 従いまして、個人での自立支援大賞（功績賞を含む）はなくなりました。また、団体としての自立大賞（奨励賞含む）もなくなりました。
- 7 上記3から6の賞についての選考基準を設定しました。
- 8 選考から授賞式までの流れを整理しました。
- 9 それ以外は概ねこれまで通りです。

ありのまま自立大賞実施要綱

I 創設のねらい（趣旨）

私たちは、「障害」の重度・軽度にかかわらず、自己の可能性を信じ、より良い「ありのまま」の人生を求めて、挑戦を続けてきた人々、言い替えば「障害」者という枠にとらわれる事無く、「健常」者に伍して前向きに生きようとする人々を永年に亙り応援してきた。

社会の中で、自己の生活を自ら切り開き、自立生活を営む千差万別な「障害」を持つ人々がさらにより高い理想を掲げて生きようとする活動（個人又は団体）を支援することを目的に、この賞を創設した。

顕彰の対象とする人々は、既に、自立し、実績を挙げて活躍している人々（自立大賞）、これから自立し実績と結果を出そうと努力している人々（自立大賞特別賞）、更に「障害」を持つ人々を直接又は間接に支援する人々（自立大賞特別賞）である。

II 自立とは（自立支援とは）

◎自立についての概念は、時代と共に変化してきたことから、常に見直す。

◎現在は下記の整理を基本に自立の概念とする。

①その「障害」ゆえに必要なとする範囲の支援を受けながら、自らの人生を自ら意思と責任で切り開き、自己実現を果たしている（又は、果たそうとしている）

②「地域」で生活しているか、ひとり暮らしをしているかではなく、その生活のあり方において、周囲の人々を巻き込み、影響を与えながら、「障害」の有無を越えた活動や実践をし、実績を残している（又は、それが期待される）

③特定の分野（医療・福祉・学術・教育・芸術・スポーツ等）において、その「障害」に関わらず、努力と結果を残している（又は、期待できる）

◎自立支援とは、上記のような自立をしようとしている人々を支援し、その自立を実現していること

III 賞の種類と選考要件及び選考基準（具体的対象）

1 賞の種類

個人

- 〈1〉 ありのまま自立大賞
- 〈2〉 ありのまま自立奨励賞

団体

- 〈1〉 ありのまま自立支援大賞
- 〈2〉 ありのまま自立功績賞

2 選考要件

- 〈1〉 食欲に生き、活動している個人又は団体
- 〈2〉 前向きかつ積極的に生き、活動している個人又は団体
- 〈3〉 人間的魅力のある個人又は団体
- 〈4〉 日本で活動している個人又は団体（障害者手帳等の有無・国籍は問わない）

3 選考基準

個人

〈1〉ありのまま自立大賞

◎「Ⅱ」の自立に該当し、その実績が顕著であり、顕彰することにより、自立に向けた人々の励みとなり、また「障害」のある人々への理解が進むことが、大いに期待される個人

〈2〉ありのまま自立奨励賞

◎「Ⅱ」の自立に向けて努力を重ね、一定の実績を残しつつあるものの、更なる活躍と努力と共に、将来顕著な実績を残すことが期待でき、顕彰することにより同様の人々の励みとなり、「障害」のある人々への理解が進むことが、期待される個人

団体

〈1〉ありのまま自立支援大賞

◎「Ⅱ」の自立支援を実践し、自立しようとする「障害」のある人々への支援を行い、一定の成果と実績を残している団体

〈2〉ありのまま自立功績賞

◎「Ⅱ」の自立支援に向けて地道な努力を重ね、一定の実績を残しつつも、これまで社会的に紹介されることがなく、顕彰することにより同様の人々の励みとなり、「障害」のある人々への理解が進むことが、期待される団体

IV 選考から授賞式までの流れ

1 アドヴァイザー（別紙）による推薦

◎各地域のアドバイザーより、推薦を頂き、事務局において書式等を確認し、補充資料を添付して被推薦者のエリアごとに、担当選考委員に送付

2 第一次選考委員による推薦

◎アドバイザーの推薦及び選考委員（第一次・第二次）独自の調査による候補者を、各選考委員において検討の上、第一次選考委員会に推薦。

◎事務局において、第一次選考委員会開催までに、全（一次・二次）選考委員に第一次選考委員推薦者リスト及び関係資料を送付。

3 第一次選考委員会における協議

◎面接調査対象（第二次選考委員会推薦候補）と面接者（当該推薦者以外の第一次選考委員）の決定。

4 第一次選考委員による面接調査

◎第一次選考委員会において、第二次選考委員会推薦候補に対する面接調査を行い、面接者により最終的に第二次選考委員会に推薦するかどうかの判断と共に第一次選考委員会座長に報告・確認。

5 第二次選考委員会への推薦

◎座長名（面接調査報告の後、座長の確認の下、事務局作業）にて、第二次選考委員会へ推薦。

6 第二次選考委員会（受賞者の決定）

◎寛仁親王殿下及びありのまま舎専務理事による第二次選考委員会において受賞者を決定する。

7 受賞者への報告と受諾の意思確認

◎御本人に連絡の上、その結果を第二次選考委員に御報告→最終確定。

8 最終確定について第一次選考委員への報告

9 アドヴァイザー・マスコミ等に報告

10 記者発表

◎受賞者について、資料を作成の上、仙台において記者発表。

11 授賞式にて表彰状及び副賞を授与

V 表彰

正賞	寛仁親王殿下名の表彰状	
副賞	ありのまま自立大賞	50万円
	ありのまま自立支援大賞	50万円
	ありのまま自立奨励賞	25万円
	ありのまま自立功績賞	25万円

VI 選考委員

(1) 第一次選考委員 (50音順) と選考担当エリア

座長	石井晃氏 (社会福祉法人友愛十字会常務理事)	[選考エリア]
	大熊由紀子氏 (ジャーナリスト)	関東
	齊藤忠義氏 (東日本福祉機器商会代表取締役)	全国
	富山光枝氏 (デイサービスセンター平安郷顧問)	東北・北海道
	前島富子氏 (アジアの障害者を支援する会会長)	沖縄・九州
	安井秀作氏 (柏朋会代表幹事)	関東
	山田昭義氏 (社会福祉法人AJU専務理事)	中国・四国
		中部・関西

(2) 第二次選考委員

	寛仁親王殿下 (社会福祉法人ありのまま舎総裁)
	山田富也 (社会福祉法人ありのまま舎専務理事)

第11回 ありのまま自立大賞

推薦資料(表紙)

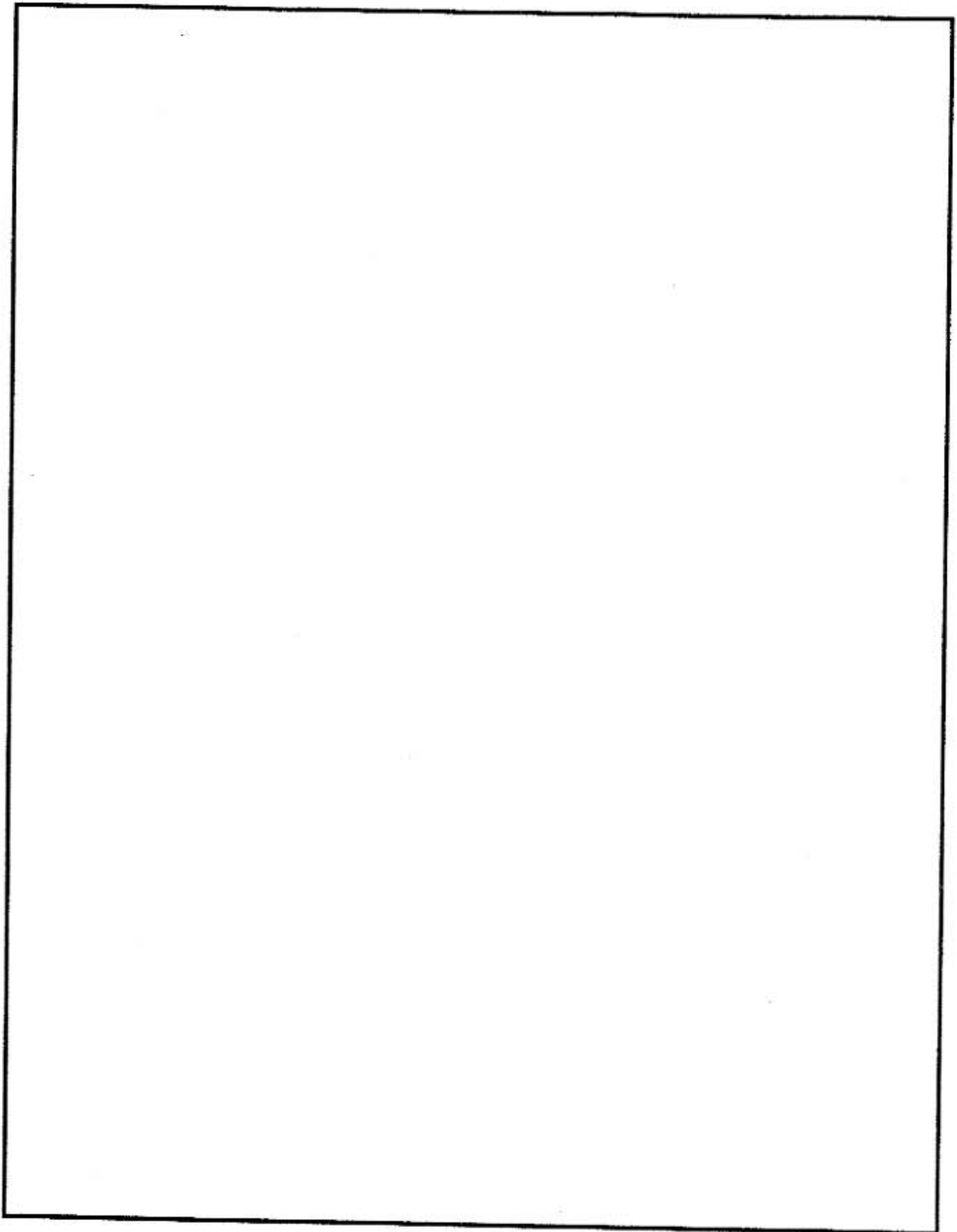
アドバイザー名		推薦対象の賞の種類 該当に○を	大賞 (個人のみ)	
選考地域			支援大賞 (団体のみ)	
ふりがな 被推薦者氏名			歳	男 ・ 女
住 所	〒			
TEL		FAX		
E-mail adress				
障害疾病名				
備 考				

※第一次選考委員

様へ

推薦資料(本紙)

[推薦理由]

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the user to write the reasons for their recommendation. The box is currently blank.